文部科学省 令和８年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

「やまなし日本語教育プログラム」のための
日本語教師育成研修　募集要項

「日本語教育と私」
―自己表現がうまれることばの学びをともに考え実践するー

山梨県では、「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を参照した「やまなし日本語教育プログラム」（以下、「やまなしプログラム」という）を開発し、令和８年度より本格的に運用を開始しました。「やまなしプログラム」は、外国につながりのある住民が自立した言語使用者として自分らしく生活できるようになることを目的に、日本語教室の参加者同士で「ことばの活動」[1]を行う実践プログラムです。

本研修は、「やまなしプログラム」における日本語教師の在り方を切り口に、参加者の皆さんとともに日本語教師の役割について、考え、自立した日本語教師として成長していくことを目指すものです。

Ⅰ．研修概要

１）目的

「やまなしプログラム」の理念や「自己表現がうまれることばの活動」の考え方を共有する、自立した日本語教師の育成とコミュニティの形成

２）日程

2026 年 11 月～2027 年 2 月（土曜日　10:00～11:30）

全 10 回（理論 6 回、実践 4 回）

３）形式

オンラインミーティング（ZOOM 使用）

---

[1] 当該プログラムにおける「ことばの活動」とは、単に表現を覚えたり練習したりすることではなく、他者と関わり合いながら意味をやりとりし、その場の状況や関係性をともにつくっていくコミュニケーションの営みを指します。

4）内容

回	日付		研修内容	課題等
1	11/28	土	研修の概要 それぞれの研修の参加動機について	研修の振り返り オンライントライアルクラスの動画視聴 （6 回分）
2	12/19	土	オンライントライアルクラス動画視聴後の意見交換①	研修の振り返り 指定された予稿を読む
3	1/9	土	オンライントライアルクラス動画視聴後の意見交換②	研修の振り返り
4	1/12～21	1 回	「はじめてのにほんごオンラインクラス」見学	見学の振り返り
5	1/23	土	「はじめてのにほんごオンラインクラス」見学後の意見交換	研修の振り返り 自身の実践構想を練る
6	1/26～ 2/4	3 回	「はじめてのにほんごオンラインクラス」実践	毎回の実践の振り返り
7				
8				
9	2/6	土	「はじめてのにほんごオンラインクラス」実践後の意見交換	「日本語教育と私」をテーマに、研修における自身の成果をまとめる
10	2/27	土	それぞれの成果である「日本語教育と私」について意見交換 研修全体のまとめ	

【参考】実践研修を行うオンライン教室について

▶開催スケジュール　2027 年 1 月 12 日～3 月 10 日　全 26 回

（火曜日・水曜日・木曜日　19:30～21:00）

▶対象者と定員　　入門レベルの方、15 名

オンライン教室における実践研修について

①見学　　1 月 12 日～2 月 21 日の間で、1 回

②教室実践　　1 月 26 日～2 月 4 日の間で、3 回

※都合により上記期間で指定回数をこなせないことが見込める場合でも、研修に参加できるように調整します。ご相談ください。

５）講師

細川 英雄氏（早稲田大学名誉教授、言語文化教育研究所八ヶ岳アカデメイア主宰）

６）研修費用

無料（通信環境に係る費用は自己負担）

７）参加要件

次の**いずれか**に当てはまる方

① 登録日本語教員

② 日本語教師の要件（「日本語教育機関の告示基準」に定める教員要件[2]をお持ちの方、※経験は問いません）、または、日本語教師要件の取得を目指して勉強中の方

※日本語教育について勉強中で研修参加を希望の方は予めご連絡ください。

８）募集人数

６名まで

９）募集期間

2026 年 10 月 28 日（水）～11 月 18 日（水） 23:59 締切

10）募集方法

① 次のフォームよりご応募ください

応募フォーム： https://forms.gle/Uho3FE68wtxHZs3q6

② 課題をご提出ください

テーマ：「日本語教育と私」

あなたにとって日本語教育とはどのようなものですか。かかわってみたいと思った動機や現在の実践活動等について、あなたの日本語教育への思いや考え方を自由に書いてください。

これから日本語教育にかかわる方は、かかわってみたいと思った動機や、どのような思いで実践をしてみたいか、自由に書いてください。

字　数：1,200 字以内

書　式：自由

---

[2] 次のア～エのいずれかを満たす者

ア.大学又は大学院で日本語教育専攻もしくは副専攻を履修修了かつ当該大学を卒業又は大学院の課程を修了した者　イ.学士の学位を有し日本語教師養成講座（420 時間単位以上）を修了した者　ウ.公益財団法人日本国政教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者　エ.ア～ウと同等以上の能力がある者

提出先：y-nihongo@yia.or.jp （古屋）

【応募・課題提出の順序について】
フォームからの応募（①）と課題の提出（②）は、同じ日に行う必要はありません。
まずは、フォームからの応募（①）を済ませ、その後、課題（②）を提出してください。

２．その他（注意事項等）

【研修にかかわること】

１）本研修は、日本語の教え方を習得することを目的とした研修ではありません。

２）研修では、「ことばの活動」について考え、参加者同士の対話を通じて、活動を協働的に構築していくプロセスを重視しています。対話による学び合いと実践を往還し、一人ひとりが自立した実践ができるようになることを目指す研修です。

３）研修では、自らの考えていることや意見交換を通じた気づきを整理・言語化することで、主体的かつ協働的に参加していただくことを前提としています。

【その他】

１）本研修は「令和８年度山梨県地域日本語教育推進事業」（文部科学省所管令和８年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業を活用した山梨県の実施事業）の一環で実施します。内容の改善や事業報告を目的として、研修の様子を録音・録画するとともに振り返りの記録の一部は個人が特定されない形で山梨県及び文部科学省に報告します。また、これらのデータは各種事例発表や山梨県のホームページ等において使用する場合があります。
あらかじめご了承の上、ご応募ください。

２）参加が難しい研修日程がある場合や研修参加にあたり不安な点がある場合は、応募前に必ずご相談ください。

３．課題図書

研修に先立ち、下記の文献を事前にお読みください。研修内容の理解を深めるための準備課題となります。

細川 英雄（監修）、マルチェッラ・マリオッティ、市嶋 典子（著）『「活動型」日本語クラスの実践 ―教える・教わる関係からの解放―』（スリーエーネットワーク、2022）

４．問い合わせ、事前相談

メール：y-nihongo@yia.or.jp　　TEL：090-7705-7513
山梨県地域日本語教育総括コーディネーター　古屋 玲子

以上